



県政報告 県政を身近に

令和2年
2020
秋季号

Vol.37

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

ご挨拶

新型コロナウイルスの感染者数の拡大は続いており、感染の終息はいまだに見えません。9月定例会県議会においては、感染拡大防止とともに病床確保や新型コロナウイルス専門病棟の整備、インフルエンザの同時流行に備えた検査費用などの予算を可決し、万全の取組を行っています。

私も県民の皆様が安全に、また安心して暮らせるように、県政の場で議員活動に全力投球いたします。ご意見やご要望は遠慮なくお寄せください。

急施議案 インフルエンザワクチンの早期接種の促進

21億3,961万円

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、高齢者等(65歳以上の人と60~64歳で基礎疾患がある人など)にインフルエンザワクチン接種の無償化により早期接種を促すため、自己負担相当額を市町村に補助します。これにより、県は対象者の8割(155万人分)の接種を目標としています。

※この補正予算は、対象期間が10月1日から12月31日であり急を要することから、提案された開会日(9月24日)に議会で審議を行い、全会派一致で可決されました。



予防を呼びかける啓発ポスター

「決算特別委員会」を設置 ~武内県議が委員長に選任される~

令和元年度決算報告の承認について、議案が提出され、継続審査に決定しました。決算内容を審査するため、県議会では18人の委員からなる決算特別委員会を設置しました。委員の互選により武内県議が委員長に選任されました。12月県議会までの閉会中、集中して審査を行います。 ▼中央が武内委員長



令和2年9月定例会県議会 (令和2年9月24日~10月14日)

新型コロナウイルスの拡大期に対応した大型補正予算 1,313億6,012万7千円 を承認

当初 追加 急施 3議案の合計額

当初議案 拡大期に対応した医療提供体制の整備

ピーク時 病床1,400床への備え 549億1,050万円

入院患者受け入れに対する協力金の支給をはじめ、人工呼吸器やECMOの整備など重点医療機関等が行う病床確保や設備整備等に対して、経費を補助します。

専用医療施設による受入れ体制の拡充 37億5,400万円

病院が敷地内または隣地にコロナ専用病棟を整備する経費を補助し、新たな受け入れ病床を確保します。併せて、一般患者や手術件数を増加させることにより、一般医療の機能回復も図ります。

軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保 68億6,999万円

これまでホテルなど民間施設等の借り上げにより10施設、1,225室を確保しましたが、更に225室を上乗せし、ピーク時に備えて1,450室を確保します。

これまで病床を1095床確保しましたが、今回の補正予算でさらに320床増やし、ピーク時に備えて1400床を確保します。

県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応

観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援 4億6,829万円

新型コロナウイルス感染症の影響により大きなダメージを受けている観光関連事業者を支援するため、Go toキャンペーンを利用して県内に宿泊した県民10万人を対象に、土産物店や飲食店などで利用できるクーポン(3千円)を配布します。また観光バスツアーや景品が当たるスタンプラリーなどを11月から開始します。



▲埼玉Go to Eatキャンペーンのホームページ

追加議案 生活に困っている人々への支援

社会福祉資金の特例貸付の補助金増額 203億4,709万円

特例貸付の受付期間が令和2年9月末から12月末まで延長され、県社会福祉協議会に対し貸付原資等の補助を増額します。

「知事等の給与減額条例案」を否決

知事、副知事、教育長等の給与を令和2年12月31日までの間、それぞれ30%、20%、10%減額する条例案が知事から提出されましたが、議会としては、コロナウイルス対策に充てる財源は、パフォーマンス的な給与削減より、現事業の見直しなどにより財源を確保することを優先すべきであるとして、議案は否決されました。

また、議員報酬20%削減の条例案に対して、報酬削減の検討は、人事委員会の勧告を待って行われるべきなどの理由で否決されました。

検査・医療提供体制の強化

インフルエンザの流行期における抗原検査費用の増額 36億9,920万円

インフルエンザとコロナの識別が困難な発熱患者増加に備え、コロナウイルス感染症の抗原検査に対応できるよう検査費用を増額します。

重点医療機関に対する病床確保料の増額 167億9,138万円

病床確保のため国の診療報酬引き上げに合わせ、重点医療機関における空床補償を5万2千円から7万1千円に増額します。

自民党県連政務調査会による団体要望 個別ヒアリングが行われる

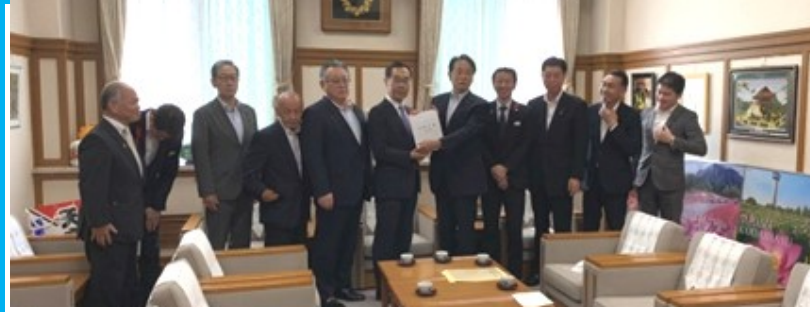


▲自民党県議団政務調査会の文教部会長として、幼稚園・小中高の関連団体から要望を受ける武内県議(9月18日)

自民党埼玉県支部連合会では、県内各種団体から令和3年度県予算への要望について9月18日から9月29日にかけて個別ヒアリングを行いました。これは毎年度実施されているもので、本年度はコロナ対策関連の要望が多くあり69団体となりました。

自民党県連は、これら団体の声を来年度予算に反映させるよう県に要望しました。

自民党県議団が政策大綱を 知事に提出



自民党県議団は、県の令和3年度予算と施策へ反映を求める336項目からなる政策大綱を知事に提出しました。この大綱の提出は毎年行っています。来年度については、特にコロナウイルス関連の要望項目が増加しました。

総括的事項として、新型コロナウイルス感染症対策や、デジタル化の実現に向け社会全体でのデジタルトランスフォーメーション(DX)の実相を加速する「生産性革命」の推進を掲げました。(10月13日)

武内まさふみの活動日誌

要望活動

■飯能県土事務所への要望

武内県議は毛呂山町長と共に、昨年の台風第19号による毛呂山町内の河川被害箇所について、早期改修整備を所長に要望しました。(7月10日)



▲河川被害箇所の早期改修を要望

■JRへSLの運行再開を要望

本年春、高崎駅～寄居駅にSL列車を走らせる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い残念ながら中止になりました。そこで、川越線・八高線沿線活性化議員連盟はJR高崎支社を訪問し、八高線沿線活性化の起爆剤となるSL列車の令和3年度運行再開を要望しました。この要望に応え、JRは来年度運行を再開する予定で準備を始めました。(8月3日)



▲JR東日本高崎支社にて

■新川越越生線の建設促進を要望

新川越越生線建設促進期成同盟会の3市2町の首長と武内県議をはじめとする県議会議員7名により、知事に対して本バイパス整備の必要性を訴えるとともに、早期の整備を要望しました。(10月16日)



▲知事公館にて橋本副知事に要望書を手渡し

■工事現場確認

飯能県土整備事務所の職員と共に、豪雨による河川の護岸崩壊箇所や川床の状況などを確認しました。(7月28日)



▲毛呂川の護岸崩壊箇所(毛呂山町平山地区)

■埼玉県環境審議会への出席

本年度第1回の審議会では、令和3年度に5年の計画期間が終了する「埼玉県環境基本計画」の見直し日程及び方法が承認されました。また、改訂版の見直し視点などについて、様々な意見が出されました。(9月10日)



▲環境審議会の様子

■県政報告第36号の配布

県議会開催後に毎回発行している県政報告を武州長瀬駅及び東毛呂駅で配布しました。(7月27日)



▲マスク、手袋をして配布

■防犯のまちづくり街頭キャンペーン

防犯のまちづくり推進議員連盟が主催して、浦和駅において、自転車盗難への防止を訴えました。(10月12日)



▲道行く人にチラシを配布(浦和駅東口)

■赤い羽根共同募金キャンペーン

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、羽を胸に付ける代わりにマスク入りの赤い羽根を配布しました。募金は例年に比べて少ない状況でした。(10月1日)



▲大野知事と議連で実施(浦和駅西口)



▲越辺川の河川改修予定地の河川上流(毛呂山町若林地区)